日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫通信
2016年　春号

"みなさんをいつもまんなかに"

■区議団控室：5803-1317（直通）
■事務所：小石川2-17-25 柏木ビル101
■Tel：3830-0063　Fax：3830-0069
メール：mandachi@jcp-bunkyokugidan.gr.jp
http://www.jcp-bunkyokugidan.gr.jp/

区政でも　*住民が政治をうごかす、新しい局面*

「受益者負担」ではなく福祉増進の区政に

「政府のいいなり、金の使い方が間違っている」

消費税8％増税により個人消費は減り続け、実質賃金は3年間で5％も減っています。社会保障費も削減され「アベノミクス」は完全に破たんしています。こうしたなか国民は、「安保法制」（戦争法）の施行など平和とくらしを壊す安倍政権に対し野党共闘を求め、政治を動かす新しい局面を迎えています。

再開発優先やめて、福祉の拡充こそ

文京区の本年度予算は、受益者負担による今後3年間で3億7千万円を超える幼稚園・育成室保育料や施設利用料の値上げ、シビック改修費など区民負担増を強いるものです。拡大する指定管理者制度や、大量退職が続く戸籍の証明書発行業務委託は、労働環境やサービスの低下を招くものです。総額273億円もの補助金投入計画の春日・後楽園再開発の着工と事業計画は見直すべきです。また、都バス大塚車庫跡地活用に「福祉インフラ整備の意向はない」という区政運営は到底認められない、予算委員会で主張しました。

春日後楽園再開発地域

区民には…

施設使用料、育成室 幼稚園
保育料値上げ。3年間で3億7千万円も！

保育園、特養の待機者いっぱい　なのに

都営バス大塚支所跡地は、「福祉目的に使わない」

一方で…

区のためこみ基金は670億円！現区政の9年間で370億円増

春日・後楽園再開発事業には100億円の補助金を追加投入　ポンと

「区民アンケート」に寄せられた回答より

請願が毎議会、次々と採択！住民の声に正面から応えるべきです

- 安保法制関連法の反対を求める（6月と11月）
- 全小中学校の全学年に35人学級の実施を国と都に求める
- これ以上銭湯を失わないよう方策を求める
- 特養ホームの増設を求める
- 原発の再稼働、輸出をやめること
- 再開発の区民周知と事業の見直し（11月）

共産党　予算修正と条例案を提出

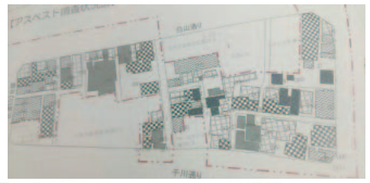
日本共産党は28年度一般会計、国保・介護・後期高齢の3特別会計予算に反対しました。同時に、総額で7億6千万円の「予算修正案」を提出しました。保育園保育料の第2子の無料化、育成室保育料値上げ中止や、区独自の介護サービスの提供、銭湯の百円デーの2倍化など暮らしに直結した修正案でした。否決はされましたが、今後につながる提案でした。

春日・後楽園駅前再開発事業

解体すすむ中、アスベスト飛散は？工事車両の出入りの安全性は？

3月末をもって春日・後楽園再開発事業（総事業費1,180億円、国からの税金約100億円、区からの税金は165億円）の工事が「着工」されました。年頭に議会にも区民にも報告なしに100億円もの税金投入を追加するなど補助金のあり方、事業計画も含めて見直しを強く要求しています。

同時に、建物解体時のアスベスト除去の飛散対策、工事車両のひっきりなしの搬出入…など、工事への心配する声があがっています。近隣を始め、区民へのさらなる説明が求められます。



解体がすすむ再開発地域とアスベストの状況図

"風呂難民"　"買い物難民"？「住み続けられる文京を」が問われます

公衆浴場がなくなり、本郷地域からも白山の銭湯に通う方が増えています。高齢者が本郷の地域から白山の銭湯に来てお湯につかり、その足で買い物をします。惣菜やお弁当や…。「真砂市場」がすでに廃止され、再開発事業で解体中のため、小売店がそっくりなくなりました。惣菜など買い込んだら、店のご主人がお客さんを自宅近くまで自家用車で送っているそうです。

結局、「まちづくり」というのはこういう結果をもたらすのか―。「銭湯の利用者が少なくなったから」と真剣に対応せず、「にぎやかな町を」と巨額の税金を投入して再開発事業が進む。しかしその中で、これまでの生活を壊される人々の声はどうなるのか。都心のど真ん中で、"難民"はありえないことです。「住み続けられる文京区」というなら、もっと正面から向き合うべきです。

寄せられた「アンケート」を今後の区政に生かします。

▼「安保法案反対など、いつも共産党はまっとうな意見を訴え、ずっと心強く思っています」（40歳女性）▼「自公の暴走を止める！野党が頑張る！特に共産党が頑張る！」▼「駐輪場の増設を」▼「再開発や環状3号線のことなど知らされていないことが多い」▼「電線類の地中化を」▼「区が"おふろやさん"に助成金を出してあげてください」▼「千川通りの都バス路線の増発をしてほしい」―国政から区政問題まで、実に多彩なご意見が寄せられています。

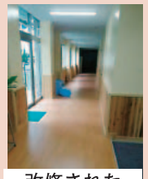
今後の活動に生かしていきます。ありがとうございます。

柳町小学校の「改築基本理念」が確認されました

柳町小学校の全面改築がいよいよ始まります。3月28日に第3回「柳町小学校教室対策等協議会」が開催され、「報告書（案）」が確認されました。

「改築の基本理念」には、「柳町小の改築にあたっては、『柳町こどもの森』、児童館、育成室も含めて一体的に整備する」「敷地内の樹木については…改築に際してどうしても支障となる樹木を除き、できる限り存続させることが望ましい」―としています。

今後、「改築基本構想検討委員会」を立ち上げ、具体的な改築方針を練り上げていきます。育成室や児童館の拡充も合わせての議論を望みます。



改修された本郷台中

まんだち幹夫かけある記

◆2月10日　2月定例議会が開会。三十数件の条例案、予算案などが提案。議員提案も6件提出しました。本会議は区長の施政方針で始まりました（3月22日まで）。

◆2月19日　今日から委員会審議に。夕方、小石川地域にある「さきちゃんち」を訪問、見学。「おともだちの家」感覚の子どもの居場所です。この日は「子ども食堂」。一緒にしばしの間、子どもたちとも話せました。

◆2月25日　文教委員会。3件の議員提案条例の答弁者として出席。委員の質問にきちんと答えられたかどうか。議案は委員会では否決されましたが、重要な審議でした。